

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 妊産婦メンタルヘルス支援体制推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子育て支援課 母子保健係

電話番号：058-272-1111(内3542)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 678 千円 (前年度予算額： 683 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	683	341	0	0	0	0	0	0	342
要求額	678	216	0	0	0	0	0	0	462
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

妊娠期から産後にかけてメンタル不調や育児不安を抱える妊産婦に対して、妊産婦の不安やつらさ等に早期に気づき、心身のケアや育児サポート等早期支援や早期治療につなげることが重要である。市町村で実施している伴走型相談支援や母と子の健康サポート支援事業等のツールを活用し、メンタル不調の妊産婦を早期発見に努めるとともに、産婦人科医、小児科医師、精神科医や、保健師や助産師等の地域関係者が連携し、安心して子育てできる切れ目のない支援体制を構築する必要がある。

(2) 事業内容

・研修会実施事業／普及啓発事業

医療機関(産科・精神科・小児科等)及び市町村保健師等を対象とした、妊産婦のメンタルヘルス支援の資質向上のための研修会を開催する。また、一般へのメンタルヘルスに関する周知のため、市民公開講座を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	128	検討会委委員・講師報償費
旅費	130	委員・講師旅費、業務旅費
需用費	271	研修会資料、会議費等
役務費	70	電話代・郵送料
その他（使用料）	79	会場使用料
合計	678	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 事業主体及びその妥当性

産科・精神科共に医療機関の地域偏在があり、産科・精神科双方の入院機能を持つ医療機関は限られているため、県全体としての体制整備から県が実施する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

妊産婦が安心して愛情を持って育児を行うことができるよう、支援者の資質の向上を目指す。自身だけでなく周囲もその不調に気付きやすくなるよう、一般にメンタルヘルスに関する知識を普及する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

地域関係者の資質の向上が本事業の目的であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	妊婦とその家族向けのメンタルヘルスリーフレット及びポスターの作成、精神科医療機関の実態調査の更新を行った。今後も、妊産婦メンタルヘルス支援体制検討会により、産科・小児科・精神科・行政との連携体制等について検討を行った。周産期メンタルヘルス研修会（支援者向け）、講演会（一般向け）を行った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	妊婦とその家族向けのメンタルヘルスリーフレット及びポスターの作成、周産期メンタルヘルス研修会（支援者向け）、講演会（一般向け）を行った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	妊婦とその家族向けのメンタルヘルスリーフレットの作成、周産期メンタルヘルスケア講演会（支援者向け）、公開講座（一般向け）を行った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	妊産婦のメンタルヘルス支援体制を整えることで、市町村における産婦健診、産後ケア及び子育て世代包括支援センター等における切れ目のない妊娠期からの支援体制の推進・充実につながり、虐待予防等にもつながることから事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	県内の妊産婦のメンタルヘルス支援体制に対し、有識者の意識が向上していると考えられる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県全体として体制整備推進することで、その後の市町村事業導入の一助になることを目的としており、事業の効率性は高い。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療機関（産科・精神科・小児科）や地域（行政）におけるメンタルヘルス支援の地域の課題を明確し、課題の解決に向けた取り組みが必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各地域の実態と課題をさらに明確にし、支援体制推進のための検討を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】